

【複合領域型（生命健康）】

充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム

Training Program of Leaders for Integrated Medical System for Fruitful Healthy-Longevity Society

■ 養成したい人材像

超高齢化社会の諸問題を俯瞰して、医療と福祉の統合により地域の中で個々人の生活を支える『総合医療システム』を構築することを通じて、充実した健康長寿社会の構築に貢献し、更に後続諸外国にそのグローバルモデルを提示することのできる総合医療開発リーダー

■ プログラムの特色

- ① 大学院入学時の成績、TOEICテストの点数、**数学**の試験、研究計画の内容、**面接**により、留学生、社会人、出身大学の区別なく履修生を選抜(20名程度/年)
- ② 理工学、生物系学部出身者が、**医学部卒業生に匹敵する基礎医学と生体知識**を習得
- ③ 早期から企業、医療・介護支援など**現場の需要**についての理解を促す体験研修
- ④ 英語による**ディベート**と**ネゴシエーション**能力の洗練
- ⑤ 産業、医療支援臨床など各界講師による、現場の状況に対応できる実践的能力の涵養
- ⑥ 社会における**医療ルール**の理解(医療政策、医療経済、医療倫理、知財管理など)
- ⑦ 企業・国内外研究機関による実践的学修とインターンシップ
- ⑧ 教育・研究開発と、検証・評価・橋渡し研究の間を循環して体験することによる、多分野を俯瞰し統合する能力の涵養
- ⑨ リーディング大学院**学位プログラム運営会議**を設置し、大学として一括管理運営
- ⑩ 京都大学と協力企業・組織の連携によるインキュベーションセンターで新産業と人材の育成を支援

「総合医療開発リーダー育成」プログラム履修とその出口

